



■著書■

松田健. 顔面神経麻痺の治療戦略. 眼手術学「眼瞼」447-454 野田美香 編 文光堂 2013

■学術論文■

[原著]

Nishimoto S, Kawai K, Tsumano T, Fukuda K, Fujiwara T, Kakibuchi M.  
Impacts of bone marrow aspirate and peripheral blood derived platelet-rich plasma on the wound healing in chronic ischaemic limb. J Plast Surg Hand Surg. 2013 Jun;47(3):169-74.

Nishimoto S, Fukuda K, Fujiwara T, Kinoshita M, Kawai K, Kakibuchi M.  
Infrared venography of the hand in Apert syndrome.  
Indian Journal of Plastic Surgery, 2013 46(3): 584-586.

Fujiwara T, Nishimoto S, Ishise H, Sotsuka Y, Kawai K, Fukuda K, Kakibuchi M.  
Influence of continuous or intermittent negative pressure on bacterial proliferation potency in vitro.  
J Plast Surg Hand Surg. 2013 Jun;47(3):180-4.

Izumi K, Fujikawa M, Tashima H, Saito T, Sotsuka Y, Tomita K, Hosokawa K.  
Immediate reconstruction using free medial circumflex femoral artery perforator flaps after breast-conserving surgery.  
J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2013 Nov;66(11):1528-33.

Fujiwara T, Hosokawa K, Kubo T.  
Comparative study of antibacterial effects and bacterial retentivity of wound dressings.  
Eplasty, 13, e5, 2013.

Fujiwara T, Kubo T, Kanazawa S, Shingaki K, Taniguchi M, Matsuzaki S,  
Gurtner GC, Tohyama M, Hosokawa K.  
Direct contact of fibroblasts with neuronal processes promotes differentiation to myofibroblasts and induces contraction of collagen matrix in Vitro.  
Wound Repair Regen, 21(4), 588-594, 2013.

Sotsuka Y, Nishimoto S.  
Making three-dimensional mandible models using a personal three-dimensional printer.  
J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2013 Dec 12. [Epub ahead of print]

Sotsuka Y, Nishimoto S, Tsumano T, Kawai K, Ishise H, Kakibuchi M, Shimokita R,  
Yamauchi T, Okihara SI.  
The dawn of computer-assisted robotic osteotomy with ytterbium-doped fiber laser.  
Lasers Med Sci. 2013 Nov 16. [Epub ahead of print]

Yanai A, Miyagawa Y, Murase K, Imamura M, Yagi T, Ichii S, Takatsuka Y, Ito T, Hirota S, Sasa M, Katagiri T, Miyoshi Y.  
Influence of body mass index on clinicopathological factors including estrogen receptor, progesterone receptor, and Ki67 expression levels in breast cancers. *Int J Clin Oncol*. 2013 Jul 3.

Matsuda K, Falkenberg KJ, Woods AA, Choi YS, Morrison WA, Dilley RJ.  
Adipose-derived stem cells promote angiogenesis and tissue formation for in vivo tissue engineering. *Tissue Eng Part A* 2013;19(11-12): 1327-35

西本 聡 創傷治癒への再生医療的アプローチ 兵庫医科大学医学会雑誌 2013.38 (1) 35-38.

河合建一郎 Barrett J. Larson.

皮膚創傷治癒過程における血清由来 Nanoparticle の役割 兵庫医科大学医学会雑誌 2013.38(1) 77-82.

堀 義康、小熊 孝、西尾 祐美. 腹壁に生じた骨化性筋膜炎の 1 例. *形成外科* 2013 56 (2) : 229-33

小熊孝, 岩谷博篤, 寺師浩人. 蠅症を伴った耳介疣状癌の 1 例. *skin cancer* 2013 128(1) 50-54

長谷川泰子, 小熊孝, 野々村秀明, 新保慶輔.

血小板増加症に伴った両足趾皮膚潰瘍の 1 例. *創傷* 2013 4(3):211-6

松田健. 眼瞼周囲の病的共同運動に対する手術治療戦略.

*Facial Nerve Research Japan* 33 : 2013 (in press)

木下将人, 福田健児, 河合建一郎, 西本聡, 垣淵正男. フィラー注入により陰莖部潰瘍を生じた 1 例.  
*日本形成外科学会誌* 2013 33(4):256-61

## ■学会発表■

[ 国際学会 ]

Ishise H, Kawai K, Larson BJ, Nishimoto S, Kakibuchi M.

Transient receptor potential C3 play an important role in the formation of hypertrophic scar as a mechanical transducer.

*Plastic Surgery Research Council 58th Annual Meeting 2013.5 Santa Monica*

Matsuda K, Kakibuchi M, Hosokawa K.

End-to-side nerve graft for facial nerve reconstruction - over 10 years experience.

*The 12th International Facial Nerve Symposium 2013.6 Boston*

Sotsuka Y, Nishimoto S, Fukuda K, Kawai K, Kakibuchi M.

Brow Lift using Periosteal Flap in Facial Paralysis.

*The 12th International Facial Nerve Symposium 2013.6 Boston*

Kenichiro Kawai, Barrett Larson, Hisako Ishise, Antoine L. Carré, Soh Nishimoto, Michael T. Longaker, H Peter Lorenz, Masao Kakibuchi.

Serum derived nanoparticles increase the rate of cutaneous wound closure.

The 22nd China-Japan Joint Congress on Plastic Surgery 2013.8 Dalian

Oshima H, Nishimoto S, Kawai K, Sotsuka Y, Tsumano T, Fujita K, Kinoshita M, Kakibuchi M.

Topical application of Bone marrow derived platelet rich plasma (bm-PRP) into the chronic non-healing wounds.

The 22nd China-Japan Joint Congress on Plastic Surgery 2013.8 Dalian

Fujiwara T, Suga H, Sorkin M, Gurtner GC. SOD3 critically regulates ROS homeostasis in wound healing and ischemia in aged mice. Plast Surg Res Council 2013 LA

Ayako Y, Michiko I, Keiko M, Yukie E, Sigetoshi I, Yoshimasa M, Arisa N, Yuichi T, Mitunori S, Toyomasa K, Yasuo M.

Activation of PI3K/Akt/mTOR pathway but not of MAPK pathway may be associated with luminal B subtype irrespective of menopausal status.

San Antonio Breast Cancer Symposium 2013.12 San Antonio

[国内学会]

松田健. よりよい Thenar flap のデザイン、ならびに切り離し時における工夫.

第 18 回日本形成外科手術手技学会 2013.2 東京

河合建一郎, 西本聡, 福田健児, 曾束洋平, 藤田和敏, 垣淵正男.

鼻中隔粘膜・軟骨移植と眼輪筋皮弁を用いた眼瞼部再建.

第 56 回日本形成外科学会総会・学術集会 2013.4 東京

曾束洋平, 西本聡, 河合建一郎, 藤田和敏, 福田健児, 垣淵正男.

大胸筋弁・大胸筋皮弁を用いた再建. 第 56 回日本形成外科学会総会・学術集会 2013.4 東京

福田健児. ガイドラインシンポジウム 4 頭頸部再建 II - 上顎、下顎、頭蓋、頭蓋底再建

1. 上顎再建. 第 56 回日本形成外科学会総会・学術集会 2013.4 東京

松田健. ミニシンポジウム「顔面神経麻痺における眼瞼部の再建」麻痺性兔眼に対する

Lateral orbital periosteal flap の利用. 第 56 回日本形成外科学会総会・学術集会 2013.4 東京

曾束洋平, 西本聡, 藤田和敏, 河合建一郎, 垣淵正男.

閉鎖式持続吸引ドレーンによる血管柄の吸引が静脈血栓の原因と思われた頭頸部再建の症例.

第 37 回日本頭頸部癌学会 2013.6 東京

河合建一郎, 石瀬久子, 西本聡, 垣淵正男.

伸展刺激が肥厚性瘢痕を引き起こす際の TRPC3 の役割について.

第 5 回日本創傷外科学会総会 2013.7 京都



石瀬久子, 河合建一郎, 西本聡, 垣淵正男.

肥厚性癒痕における皮膚表皮細胞と繊維芽細胞間の関係について～ TRPC3 の役割～.

第 5 回日本創傷外科学会総会 2013.7 京都

門脇未来, 日笠壽, 南享介, 栗山真梨子, 須磨敬司, 大野一幸.

慢性骨髄炎に対する治療工夫 - VACR 療法を併用した Papineau 法 -.

第 5 回日本創傷外科学会 2013.7 京都

垣淵正男, 曾束洋平, 松田健. 移植神経に対する端側神経縫合による顔面神経再建.

第 24 回日本末梢神経学会学術集会 2013.8 新潟

藤田和敏, 垣淵正男, 西本聡, 河合建一郎, 曾束洋平, 三好康雄.

当院における遊離皮弁を用いた乳房再建症例の検討.

第 1 回日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会創立記念総会 2013.9 福岡

垣淵正男, 西本聡, 河合建一郎, 妻野知子, 曾束洋平, 藤田和敏, 木下将人, 藤川昌和, 福田健児, 松田健, 山田信幸.

移植皮弁の選択 私のファーストチョイス 頭頸部に用いる皮弁 肩甲骨による上顎再建について.

日本マイクロサージャリー学会 40 周年記念学術集会 2013.9 盛岡

松田健, 垣淵正男, 細川互.

ビデオシンポジウム「神経損傷に対する神経縫合・神経移植・神経剥離の実際と術後成績」

顔面神経欠損に対する神経再建術 -axonal supercharging と axonal distribution-.

日本マイクロサージャリー学会 40 周年記念学術集会 2013.9 盛岡

曾束洋平, 西本聡, 藤田和敏, 河合建一郎, 垣淵正男.

パーソナル 3D プリンターを用いて術前下顎骨立体モデルの作成の試み.

日本マイクロサージャリー学会 40 周年記念学術集会 2013.9 盛岡

木下将人, 垣淵正男, 西本聡, 河合建一郎, 曾束洋平, 妻野知子, 藤田和敏, 大島遥.

遊離血管柄付き腓骨によるビスフォスフォネート系薬剤関連顎骨壊死 (BRONJ) の上顎再建.

日本マイクロサージャリー学会 40 周年記念学術集会 2013.9 盛岡

西本聡, 曾束洋平, 藤田和敏, 河合建一郎, 妻野知子, 木下将人, 垣淵正男.

パーソナル 3D プリンターを用いた 3 次元立体モデルの作成.

第 31 回日本頭蓋顎顔面外科学会 2013.10 名古屋

曾束洋平, 西本聡.

頭蓋 (骨) 縫合早期癒合症における、頭蓋内圧亢進検査の有用性・頭蓋内圧亢進と精神運動発達との関連.

第 31 回日本頭蓋顎顔面外科学会 2013.10 名古屋

妻野知子, 大島遥, 木下将人, 藤田和敏, 曾束洋平, 河合建一郎, 西本聡, 垣淵正男.

当院における眼窩内腫瘍 31 例の検討. 第 31 回日本頭蓋顎顔面外科学会 2013.10 名古屋

柳井亜矢子, 小松正人, 吉丸哲郎, 清谷一馬, 伊藤敬, 廣田誠一, 笹三徳, 片桐豊雅, 三好康雄.  
Molecular characteristics of ER-positive and HER2-negative breast cancer by immunohistochemistry.  
(ポスター) 第 72 回日本癌学会学術総会 2013.10 横浜

河合建一郎. 機械的伸展・収縮刺激が皮膚肥厚性癬痕を引き起こすメカニズム - TRPC3 の役割について - .  
第 22 回日本形成外科学会基礎学術集会 2013.11 新潟

松田健, 垣淵正男, 細川互. シンポジウム「顔面神経麻痺治療 橋渡し研究最前線」移植神経側面への端側神経縫合  
(ループ型神経移植) を利用した顔面神経再建 ~基礎研究ならびに 10 年超の臨床応用経験を通して~.  
第 22 回日本形成外科学会基礎学術集会 2013.11 新潟

石瀬久子, 河合建一郎, 西本聡, 垣淵正男. 伸展刺激による皮膚表皮細胞と線維芽細胞間の相互作用  
- 肥厚性癬痕形成時の Endothelin-1 と TRPC3 の役割 - .  
第 22 回日本形成外科学会基礎学術集会 2013.11 新潟

松田健, 垣淵正男, 細川互.  
ループ型神経移植を利用した顔面神経再建~基礎研究ならびに 10 年超の臨床応用経験を通して~.  
第 22 回日本形成外科学会基礎学術集会 2013.11 新潟

西本聡, 曾束洋平, 藤田和敏, 河合建一郎, 垣淵正男.  
放射線照射による創傷治癒遅延のウサギを用いた実験モデルの作成.  
第 43 回日本創傷治癒学会 2013.11 別府

西本聡, 曾束洋平, 河合建一郎, 藤田和敏, 木下将人, 大島遥, 垣淵正男.  
3D プリンターによる再建耳介軟骨フレームテンプレート作成の試み.  
第 23 回日本シミュレーション学会 2013.11 福岡

横山茂和, 佐々木洋, 橋本安司, 山本陽子, 大和寛幸, 竹田充伸, 俊山礼志, 徳岡優佳, 松山仁, 井出義人,  
福島幸男, 児玉憲, 竹田雅司.  
著明な胆管内発育をきたした肝内胆管癌の 1 切除例.  
第 75 回日本臨床外科学会総会 2013.11 名古屋

[ 地方会等 ]

門脇未来, 日笠壽, 南享介.  
頸部熱傷後癬痕拘縮に対して Expanded free groin flap 用いて再建を行った症例の経験.  
第 21 回日本熱傷学会近畿地方会 2013.1 枚方

西本聡, 河合建一郎, 曾束洋平, 藤田和敏, 石瀬久子, 外岡真紀, 宮崎裕子, 垣淵正男.  
臨床と研究. 第 103 回関西形成外科学会学術集会 2013.3 大阪

曾束洋平, 西本聡, 河合建一郎, 垣淵正男.  
形成外科専門医取得前医師によるマイクロサージャリー.  
第 103 回関西形成外科学会学術集会 2013.3 大阪

福田健児. スレッドリフト後に生じた顔面皮膚瘻孔の1例. (ポスター)

第103回関西形成外科学会学術集会 2013.3 大阪

今川侑子, 松田健, 細川瓦, 富田興一, 菊池守, 波多祐紀.

皮膚の色調変化なく顔面に発生したBednar腫瘍の一例.

第103回関西形成外科学会学術集会 2013.3 大阪

西尾祐美, 小熊孝, 堀義康.

臀部に生じたintravascular papillary endothelial hyperplasia(IPEH)の1例.

第103回関西形成外科学会学術集会 2013.3 大阪

大西薫, 市野直樹. 当科における3例のメルケル細胞癌の治療経験.

第104回関西形成外科学会学術集会 2013.7 大阪

大島遥, 曾束洋平, 西本聡, 河合建一郎, 妻野知子, 藤田和敏, 木下将人, 垣淵正男.

帝王切開後の手術瘢痕部に生じた異所性子宮内膜症.

第104回関西形成外科学会学術集会 2013.7 大阪

外岡真紀, 富士森良輔, 富士森英之, 岡田真衣子.

Stick set method(仮称) 陥入爪に対する貼り付け矯正法.

第104回関西形成外科学会学術集会 2013.7 大阪

栗山真梨子, 門脇未来, 南享介, 須磨敬司, 日笠壽.

下肢開放骨折における骨露出部をVAC療法にて閉鎖した一例.

第104回関西形成外科学会学術集会 2013.7 大阪

齋藤拓也, 藤川昌和, 泉憲, 田島宏樹.

弓部大動脈全置換術後の人工血管感染に対し、人口血管再置換と広背筋皮充填術を施行した一例.

第104回関西形成外科学会学術集会 2013.7 大阪

大島遥, 河合建一郎, 西本聡, 藤原敏宏, 曾束洋平, 藤田和敏, 木下将人, 垣淵正男.

眼窩内に発生したSolitary fibrous tumor(SFT).

第105回関西形成外科学会学術集会 2013.12 大阪

宮崎裕子, 福田健児. 多発骨転移を疑ったSAPHO症候群の1例.

第105回関西形成外科学会学術集会 2013.12 大阪

高橋誠, 今井啓介, 升岡健, 山口憲昭, 石瀬久子, 高羅愛弓, 出口綾香.

皮膚リーシュマニアの1例. 第105回関西形成外科学会学術集会 2013.12 大阪

吉武優, 小熊孝, 堀義康. 母指基節部に発生した脂肪腫の1例.

第105回関西形成外科学会学術集会 2013.12 大阪



岡田真衣子, 富士森良輔, 富士森英之, 外岡真紀.

目頭切開術後に生じた内眼角部の変形を上眼瞼の前進皮弁で修正した症例 - 目頭切開術をおこなった少女の悩み -  
第 105 回関西形成外科学会学術集会 2013.12 大阪

[研究会・講演会等]

Fujiwara T, Sorkin M, Gurtner GC.

SOD3 critically regulates ROS homeostasis and promotes wound healing.

6th Annual Stanford Plastic Surgery Research Symposium. 2013.4 Stanford

松田健. Crab claw flap による外眼角部欠損の再建.

第 24 回眼瞼・義眼床手術研究会 2013.2 広島

西本聡. 創傷治癒と再生医療.

平成 24 年度兵庫医科大学医学会総会および第 4 回学術講演会 2013.3 西宮

門脇未来, 日笠壽, 南享介, 菊池守. 治療に難渋している重症虚血肢潰瘍の一例.

第 38 回大阪形成外科医会 大阪

鈴木千晶, 中瀬睦子, 西尾祐美, 堀義康, 小熊孝. 広範な褥瘡を保有した患者の在宅支援.

第 8 回播磨褥瘡創傷研究会 2013.3 姫路

松田健. 眼瞼周囲の病的共同運動に対する手術治療戦略.

第 36 回日本顔面神経研究会 2012.4 沖縄

曾束洋平. 傷あとをきれいにするために.

第 2 回 Wound Healing Academia in Hyogo 2013.5 西宮

堀義康, 小熊孝, 西尾祐美, 吉武優. フルニエ壊疽の 3 例.

第 39 回兵庫県形成外科医会研究会 2013.5 神戸

垣淵正男. 慢性維持透析患者の下肢壊疽に対する形成外科医の取り組み.

第 38 回武庫川カンファランス 2013.7 西宮

松田健. Prefabricated Induced Expanded DP flap を用いた熱傷後瘢痕の resurfacing.

第 8 回瘢痕・ケロイド治療研究会 2013.8 札幌

横山茂和. 膵臓、胆道の悪性疾患の外科治療. 八尾市立病院 市民公開講座 2013.8 八尾

西本聡. PRP update. 第 9 回阪神形成外科セミナー 2013.9 大阪

小熊孝, 吉武優, 堀義康, 西尾祐美.

第 4 中足骨短縮症に対する創内固定型延長器の使用経験.

第 27 回神戸形成外科集談会 2013.9 神戸

垣淵正男. 眼瞼下垂と眼瞼内反症に対する手術について－形成外科医の立場から－.  
第 26 回さざなみ眼科研究会 2013.10 大津

小熊孝, 吉武優. 当科における眼瞼下垂手術症例の検討 (講演).  
高砂全医師研修会 2013.10 高砂

西本聡, 河合建一郎, 藤原敏宏, 曾束洋平, 藤田和敏, 木下将人, 大島遥, 垣淵正男.  
Platelet-rich fibrin に含まれるサイトカイン量について.  
第 5 回多血小板血漿 (PRP) 療法研究会 2013.11 大阪

藤田和敏. ナトレルプレストインプラント入替術におけるポイントと注意点  
～アナトミカルインプラントを中心に～.  
第 6 回関西 Oncoplastic Breast Surgery 研究会 2013.12 大阪

■科学研究費補助金■

名 前	期 間	金 額 (円)	区 分	研究課題名
垣淵 正男	平成 25 年度～ 平成 27 年度	4,940,000	基盤研究 (C)	端側型神経移植による 顔面神経再生様式の解析
河合 建一郎	平成 25 年度～ 平成 27 年度	4,940,000	基盤研究 (C)	糖尿病性創傷治癒障害における 血清由来 Nanoparticle の役割の解明